

施策分析シート（平成25年度）

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供	施策No	04-08	部課名	教育委員会事務局社会教育課		
				課長名	北村 内線 3350		
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、指導室						
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]					
	政策	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成[04]					
目的	放課後や土・日曜日、長期休業期間に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。						
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		22年度	23年度	24年度	25年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	校庭利用年間延べ人数	30,964	26,448	26,307	28,000	31,000	目標実施回数×実施一回あたりの目標利用人数
	小学校科学教育センター登録率	4.2%	3.6%	3.4%	3.0%	3.8%	対象児童（小6）に占める割合
	中学校科学教育センター登録率	1.1%	1.3%	1.1%	0.6%	1.6%	対象児童（中1～3）に占める割合
現状と課題（指標分析）	- 校庭などの既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供してきており、今後も引き続き実施していく必要がある。 - 校庭開放や校庭利用事業は、児童生徒の安全確保と場所の提供のため、保護者などの協力を得て事業運営しているが、区民参加を一層進めていく必要がある。						
今後の方向性	《今までの成果及び指標分析を踏まえて》 引き続き、区内における広場や空き地の状況を踏まえ、既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域や保護者の協力を得ながら、運営方法や事業内容の検討をしていく必要がある。						

施策の分類		分類についての説明・意見等
25年度	26年度	
継続	継続	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、運動・遊びの場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与する施策である。

施策分析シート（平成25年度）

No2

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		23年度	24年度	25年度	26年度	
校庭利用運営費	11-04-03	4,228	4,000	継続	継続	児童に安全な遊び場を提供している。
科学教育事業運営	11-06-44	884	998	継続	継続	多様な科学教育の実施は必要であるが、土曜授業の実施状況等を踏まえた、事業の実施方法等を検討する。
合 計		5,112	4,998			